平成23年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493400038	事業の開始年月日	平成18年6月1日	
		指定年月日		
法人名	株式会社アイシマ			
事業所名	グループホームすもも			
所在地	(246-0026) 横浜市瀬谷区阿久和南 2 - 1 0 - 1			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成23年11月22日	評価結果 市町村受理日	平成24年1月31日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1493400038&SCD=320
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームすももは周りを緑に囲まれた静かな場所に建っています。理念に掲げている、「その方らしさを大切に」「友と楽しみ共に学ぶ」を中心に家庭的な雰囲気づくり、家でくつろぐ感覚を大切に、音楽療法、夏祭り、花火大会、クリスマス会、はもちろん、日常的に2つのユニット同士が交流一つの家族としてふれ合いながら生活出来るよう支援しています。また、大正琴演奏、ハーモニカ演奏、フラダンスサークルなどのボランティアとの交流や、自治会でのお祭り、清掃、どんと焼、運動会など様々な催しに参加し、施設外との交流も盛んに行なわれ、地域との関わりをも力を入れています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成23年12月22日	評価機関 評価決定日	平成24年1月13日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、相模鉄道線三ツ境駅からバスで約10分、幹線道路から少し入った畑に囲まれた静かな環境にあります。隣接には地域ケアプラザがあり、高齢者向けのレクリエーションやサロン、図書室で本の貸し出しもしている地域交流活動の場でもあります。

法人は泉区・瀬谷区を中心に多数のグループホームを運営管理し、地域の方に福祉サービスの提供に努め、事業所の理念である「利用者の日々の暮らしを大切に、その方らしく生活をしていただけるよう」に支援しています。

<優れている点>

事業所は医療連携体制の基に、医師、看護センターの看護師と連携し、健康管理に努め、24時間連絡体制をとり安心して医療を受診できる体制にあります。

看取りを経験しています。ターミナルケアの指針を作成し、家族の要望により、医師と看護師、家族と職員が協力し、可能な限り事業所で看取り介護をする方針が確立しています。

<工夫点>

利用者は音楽療法に法人のレストラン「風の音」へ出掛け、音楽療法士のピアノ伴奏で歌を唄い、身体を動かしてリハビリテーションに努めています。

利用者の体調にも考慮しながら希望があれば毎日でも入浴できるように支援しています。浴室には車いすや体力低下した利用者のための機械浴が設置され、介護度が高い方には法人の訪問入浴も利用できる体制となっています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームすもも
ユニット名	めぶき

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は玄関や事務所などの目の付くところに貼り、いつも目にしながら、その方らしく暮らし続けることの大切さを考えながら、又地域との交流を深め安心して生活してゆけるように支援しています。	理念は開設時に管理者が中心となり、職員と話し合いにより作成し、1階・2階の事務室に掲示しています。管理者は新入職員研修時に理念を説明し、職員にはミーティングの中で意識付けを行い実践につなげています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩の時の小さな挨拶から、自治会清掃活動やお祭り等、地域の活動に参加し、又施設での避難訓練などの催し物に地域の方が参加していただきながら交流を深めています。	町内会に加入し、地域の夏祭りにはお神輿を見物し、道路清掃、防災訓練にも参加しています。地元の中学3年生の体験学習を受け入れ、地域ボランティアの方の歌やハーモニカ演奏を観賞し、ふれあいを持ちながら暮らしています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会長、民生委員、地域ケアプラザを介し行われる、運営推進会議で地域の高齢者情報を得たり、ホームの様子をお話したりしながら、認知症への理解を深めていただけるように努めています	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月毎に開催される運営推進会議では、施設での活動報告等で情報を公開し事業所の理解を深めていただくと共に、地域の情報を得る場として活用しております。同じ地区の同法人施設も加わり、毎回活発な意見交換がなされております。	運営推進会議は2ヶ月毎の奇数月に開催しています。会議では運営状況や活動内容、外部評価の受審報告を説明し、意見交換を行い理解と支援を得て、サービス向上に活かしています。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村担当者、保護担当者とは日頃より連絡を密に取り、意見や要望を伺います。保護担当の方には、ご家族探しなど協力いただき、親族に再会できる様になったかたもいらっしゃいます。法人外のグループホームとの交換研修やグループホーム連絡会、行政が主催する研修にも参加し、得られたことをホームの運営に役立てております。	管理者は区の高齢障害支援課や生活保護課へ事業所の運営や業務上の問題点を報告し、相談をしています。横浜市高齢者グループホーム連絡会に出席し、情報の共有に努め、職員の交換研修も行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設では、中庭への出入りは自由にさせていただいています。防犯上玄関は施錠してありますが、希望されればスタッフと一緒に外に出られるようになっていきます。また、法人内外での研修、勉強会で内容や必要性を学んでおります。	職員は身体拘束についての研修を実施し、拘束をしないケアに努めています。玄関の施錠は安全面、防犯上の理由から家族の了解を得て施錠しています。利用者がうろうろして外出願望が高まっているときなどは職員と一緒に外出し見守りに努めています。	玄関の施錠は目配り、見守りの工夫の話し合いをし、鍵をかけないケアの実践に向けてなお一層取り組みも期待されます。
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	社内における勉強会や研修会で内容、必要性を確認しています。虐待防止マニュアルは、職員がいつでも確認出来る様になっており、定期的に職員に個別アンケートを行い、自分の介護を再確認する場を設け、気づきからの抑制に努めております。日常生活の中で虐待が見逃されないように日々の変化に素早く対応出来る様に努めています		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	当施設では利用された方はおりませんが、介護の現場では密接にかかわりのあることなので、社内の勉強会や研修会でその必要性を学んでおります。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	施設管理者が契約時必ず立会い、不明な点がない様に時間を掛けて随時質問を受けながら、説明しています。又、出来る限り明確にわかり易い説明を心がけております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	通常は定期的に送付する手紙や面会時に話を伺い、要望を受けています。普段から気軽に来ただけり様な雰囲気づくりを心がけ、話しやすい環境づくりをし、家族会や、電話連絡などでご家族との友好な関係が保てるように努めています。	苦情や要望の相談窓口は、重要事項説明書に明記し、契約時に説明しています。運営推進会議や年2回の家族会、家族の来訪時には生活状況を話し、意見や要望を聞いて運営に反映させています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスを開催しスタッフ間での情報の共有をし、統一した介護が出来る様にしています。又、通常より申し送りや連絡ノートなどでコミュニケーションを取り合い、活発に意見が交換出来る様に努めています。	管理者は全体会議やユニット会議、毎月1回のカンファレンスや申し送り時に日常業務の意見や提案を聞き、業務の向上に反映させています。職員の提案により会議を業務時間内に行っています。法人の担当部長が巡回し、職員の要望を聞き事業に反映しています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は細部に気を配り、気軽に話が出来ると雰囲気作りを心がけています。研修や資格獲得などは積極的に声掛けをし、希望の職員には、勤務日程を調整しサポートしております。また、勤務経験によって仕事を任せ、評価する事でやりがいを持てる様にしています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人は職員の研修会参加を推奨しており、研修の情報提供や勤務調整等のサポートを優先して行っております。年に1度、法人の全施設が参加する事例報告会を開催し、職員は発表に向けて目標を掲げ、様々な取組みを行う中で、自然と知識や技術が身につく様になっております。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣の事業所へ協力を仰ぎ、グループホーム分科会や連絡会に加入し、近隣の同業者間での交換研修を行っています。アイシマグループ全体会議などで、他の事業者との情報交換を行っています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	御入居初期はご本人が最も不安に思われる時期であり、不安を取り除く事に重点を置いています。些細な事も聞き漏らさないよう傾聴をし、そこで得た情報は職員全員で共有しコミュニケーションを取る時に役立てています。また、御希望には出来る限り迅速に応え、そこから信頼関係を築いて行かれるように努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御入居まもなくはご本人、ご家族共に不安な状態ですので、定期的に手紙を出す他、面会時はもちろん、変化があれば、随時こちらから連絡を密にとり、状態を報告し、積極的にお声掛けする事で、不安を取り除くよう努めています。その中で出た御希望には迅速に対応し、安心して任せて頂ける様、努めております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	話し合いに十分な時間をとり、ニーズの把握に努め、ご本人の負担の少ない介護になるように心がけています。また、車椅子、介護ベット等の介護用品や一般のベット等の入手手配はもちろん、身の回りに必要な物は入手手配にお応え出来る様になっております。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で食器片付け、食事の下ごしらえ、配膳、等、身近なことで役割を持ってホームの一員として生活していただけるように支援しております。その中で自然と利用者様同士、支え合う姿も見られます。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	年2回、定期的に家族会を開催し、意見交換を行ったり、日常、連絡を密に取り合う中で、ご家族の手助けが必要な時は積極的にホームでの介護に参加していただいております。食事介助や手紙のやり取り、面会、行事への参加など、様々に参加していただける場面を設けております。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間や面会者の制限はありません又、ご家族と外出されたり、外泊する事の制限もありません。手紙や電話のやり取りも希望に添った対応を行っております。御親族のお墓参りや馴染みの場所へのドライブなども付き添い支援いたしております。	職員は利用者と一緒に昔馴染みのラーメンや餃子を食べに同行することがあります。墓参りに出掛けることもあります。利用者の友人が車で迎えに来てファミリーレストランで食事をしたり、手紙が届き、返信をポスト投函に一緒に行くこともあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事は全員揃って摂るようにしています。朝はラジオ体操を日課として全員で体を動かし、催し物やアクティビティーを多く取り入れて共通の話題が持てるように支援しています。その中で、利用者様同士自然と馴染みになり、お互いに支え合う場面も多く見られております。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	御本人、ご家族の意向を最優先に十分な話し合いを行います。又、退所をお考えの場合には、その後の行き先も含めて話し合いを持ち、最後までフォローいたします。		

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常のコミュニケーションや行動からご本人の気持ちの把握に努めています。意志の疎通が困難な場合でも行動や発言、表情から発見できるよう、細かい観察を心がけております。職員間では日々の申し送りや連絡ノートなどで情報の共有をして意向の把握に役立てております。	職員は日常の行動や表情から利用者の意向や希望を汲みとるように努めています。意向を自分から伝えにくい方は、散歩時や利用者の少なくなった夜間帯、入浴時のゆったりとした時に話を聞いて連絡ノートに記録し、共有しています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメント情報はいつでも見られるようにし、入居後もご本人からの会話や、ご家族、役所担当者から得られた情報は相談記録、ケース記録、フェースシートなどに記載し、個人記録ファイルにファイルし、職員がいつでも確認出来る様になっております。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝9時に夜勤者から日勤者へ夕方4時半に日勤者から夜勤者へその日の様子を業務日誌に記録し、口頭でも報告しています。また、利用者様を良く観察し、言葉が発せられない方でも些細な変化からニーズを探れるように心がけて支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>医療、看護からはそれぞれ訪問記録を作成し、訪問時に話し合った事を記録しています。そこに、介護面からのアプローチも加え、ご本人の気持ち、ご家族の意向を取り入れ、カンファレンスを開催し、多角面からの意見が反映されるようにしております。基本は3ヵ月ごとの見直しですが、必要があればそのつど見直し作成しています。</p>	<p>アセスメント記録を基に利用者・家族の初期ニーズを聞いています。モニタリング後、カンファレンスで職員の意見を聞き、医師、看護師の所見を採り入れて作成しています。通常は3ヶ月毎に見直し、心身の変化があった場合はその都度見直しをしています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別にケース記録を作り、日常の様子はもちろんの事、医療、看護、行政、ご家族など、様々な情報を記入し職員はいつでも情報を確認できるようになっており、そこから得られた情報は介護計画を作成するときの情報として活用しております。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>提携病院以外にも必要に応じて受診の付き添いも行っております。又、施設での入浴が困難な方へは訪問入浴やケアセンター、介護タクシー、小規模多機能など、その時々生まれるニーズに柔軟に対応できる体制がアイシマには揃っております。また、個別に外食がしたい、お墓参りにいきたい、公衆電話から電話をかけたいなどのニーズにも対応しております。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>町内会に加入しており、夏祭り、体育祭、町内清掃など催し物へ多く参加しています。又地域ケアプラザへも頻繁に出かけ、馴染みの場所づくりを積極的に行って安心して暮らして頂けるように支援をしています。また、自治会へも加入しており、地域の一員として暮らして頂いております。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>内科、精神科、歯科、訪問看護の定期的な往診、訪問があり、ターミナルケアを受ける体制も整っており、御希望の主治医を選んでいただけます。また、主治医より、専門分野への紹介も行っております。</p>	<p>入居前からのかかりつけ医による医療を継続して受診できるように支援し、家族に替わって職員が通院介助する場合があります。医療情報は個人ファイルに記録し、職員間で共有しています。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションとの契約に基づき日頃の健康管理や相談を受けられます。日常の状態は連携ノートで細かい変化を伝えて情報を共有しております。訪問は週1回必ず行われておりますし、24時間いつでも相談できるシステムが整っております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は医療機関へ情報を提供し、入院中は定期的に訪問し様子を伺います。その時の御様子等はケース記録に記載し、情報を共有しております。また、入院が必要となり得る疾病をお持ちの場合は訪問医とは別に疾病に適した入院設備のある病院への受診を行っております。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本施設にはターミナルケアまで受け入れる体制が整っており、入居時にも説明しています。又、重度化した時点で主治医、訪問看護から説明をし、ご本人、ご家族が納得の行く支援に取り組んでいます。施設として今までに5件の実績があります。	看取り介護を行い、ターミナルケアは家族の要望があれば行う方針です。重度化した場合の対応については、入居時に説明し同意を得ています。急変時には主治医、看護師、家族、職員が話し合い最善の方法を採るよう方針を共有し、勉強会も実施しています。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人内の勉強会やカンファレンス、外部の研修等を通じ応急手当や初期対応の訓練を行っています。急変時の対応についても、マニュアルを目に付くところに貼ってあります。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回定期的に消防署立会いの元避難訓練を行い、訓練時には地域の方にも参加していただき、災害時に対応出来る様にしています。その際、消防署から指摘された事は、課題として、そのつど改善していくように努めております。施設には3日分の水と食料を備蓄しており、法人で4日分の備蓄があり、計7日分の水、食料を確保しております。	防災・避難訓練は年2回、そのうち1回は夜間想定で行い、消防署の協力を得て実施しています。同一法人の自宅が近隣にあるなど地域の方の協力を得やすい状況にあります。非常災害用の食料や飲料水は3日分備蓄し、法人と併せ約7日分あります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇マニュアルが整備されており、マニュアルに基づき職員全員が言葉かけや態度など、目上の方であるということを心に留めて丁寧で、落ち着いた態度で対応出来る様に心がけております。	職員は入職時に守秘義務に関する誓約書を提出しています。日頃よりプライバシーを損ねることのないように、目上の方に対する話し方や対応に心掛けています。個人情報を含む書類は施錠のできる書庫に管理しています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴時間や洋服選び、1日の過ごし方などは基本的に自己決定していただいています。コミュニケーションを良くとり、ご本人が話しやすい環境づくりを心がけています。	/	/
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の過ごし方は自己決定していただいています。散歩や買い物、ドライブ、庭掃除など希望に添えるように支援すると共に、入浴や食事などは、その方の体調や気分に合わせて良い時間に摂って頂けるようにしています。	/	/
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服は御自分で選んでいただいています。難しい方には一緒に選び、なるべく自己決定していただいています。またいつでも清潔なものを身に着けていただくように支援しています。訪問理容師によるサービスも受けられます。おしゃれをして出かけられる様、外食や買い物、音楽療法など外部の人とさ接する機会を設けております。	/	/
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りの手伝いや食器を片付けたりテーブルを拭き、配膳など出来ることを積極的に参加していただいております。また、施設内では行事食や畑で育てた野菜を収穫し、取れたて野菜を召し上がっていただいたり、施設外でも法人所有の中華レストランに外食に出掛けたり、様々な方法で食事を楽しんでいただいております。	利用者は職員と一緒に野菜の皮むきなどの下ごしらえ、テーブル拭き、盛り付け、食器洗い・拭き、下膳を行っています。職員は利用者と一緒に食事をしながら食事介助もしています。誕生会ではケーキと色紙を提供し、お祝いしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	施設には管理栄養士、栄養士がおり、日頃より、職員により良い献立作成の指導をしております。また、糖尿病や腎臓病等で病人食が必要な場合もすぐに対応する事が出来ます。食事や水分の摂取量はチェックシートにて個々に細かく記録しており、状態に応じて常食からミキサー食まで様々な形態に対応しております。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後すぐにお声掛けをし、口腔ケアをしていただいで清潔を保てる様に支援しております。重度化しご本人が行えない場合には職員がスポンジを使い食前、食後に口腔ケアを行っております。訪問歯科の往診もあり、口腔ケアだけでも御利用いただけます。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々に排泄チェックシートを作成し、その方の排泄パターンを見つけ出し、早目のお声掛けやトイレにお連れする事で失敗を減らし、少しでも自立してトイレに行って頂ける様に支援しております。この取り組みの中で、日中リハビリパンツから布パンツに改善された方がいらっしゃいます。	排泄チェックシートで入居者の排泄パターンを把握し、トイレ誘導をしています。誘導する際は自尊心に配慮し、さりげなく声かけをしています。リハビリパンツから布パンツへ改善した方もいて、利用者が気分良く排泄ができるよう、支援に心がけています。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	担当医に相談はもちろん、日常の食事にヨーグルトや納豆などの発酵食品、根菜類、海藻類を多く取り入れることや、体操や散歩で体を動かすなどで下剤に頼らない便秘予防に取り組んでいます。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は毎日おこなっており、希望があればその時間に入浴できるようになっています。菖蒲湯やゆず湯などの季節の楽しみも取り入れ、通常入浴の困難な方には、機械浴も設置されており、重度の方にも安心して入浴していただけます。	入浴は1日おきに、希望があれば毎日でも入浴できるように支援しています。入浴を拒む人には、相性の良い職員が声かけて入浴を促し、介助しています。重度の人、数人は機械浴を利用し、更に重度の人は週に1度、法人の訪問入浴を利用しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個室ではいつでも横になって休んで頂ける様になっております。エアコンや湿温計を完備し室内の温度、湿度、にも気を配っております。庭には布団干し場も設けており、天気の良い日には布団を干し、快適で安心して休めるように支援しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別ファイルには薬の目的、用法、用量、副作用などの情報が細かく記載された物を綴じてあり、職員全員が情報を共有しています。また、服薬の変更はそのつど申し送りをし暫くの間は様子観察を行い、その変化は担当医に随時連絡し、支持を受けております。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	理念の一つでもあるその人らしさを大切にしながら得意な事、好きな事を発揮できる場面を多く取り入れています。音楽の好きな方にはそれぞれ好みのジャンルを好きなきに聞いて頂ける様に居室にCDプレーヤーを用意して歌謡曲、童謡、民謡、クラシックなど様々なCDを用意しております。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常の散歩は毎日行っております。その他、法人所有の中華レストランへ食事会や音楽療法へは車椅子の方でも負担なく外出出来る様に、車椅子のまま乗り込める車での送迎を行うなど、定期的に外出する機会を設けております。また、個別による御希望にも出来る限り応えるように努めております	利用者はそれぞれの体調により、ホームのまわりや隣の地域ケアプラザを一周したり、阿久和川に沿って、道々の花や緑を愛で、鯉を見るコースもあります。職員と一緒に日用品の買い物に同行したり、音楽療法へ法人の「風の音」へ出掛けるときもあります。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御希望の方には施設で現金をお預かりし、買い物はスタッフが同行し好みの物を選んで買い物していただいております。金銭管理は出納帳を作成し、ご本人、ご家族に確認していただく様になっております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙についての制限はありません。誰にでも自由に連絡していただけます。施設内でプライベートな電話は避けたいという方に、近隣の公衆電話を使用していただく支援をしております。また、いつでも手紙が出せるように、切手やレターセットの用意もごさいます。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	全館、冷暖房完備されており、1年中快適な温度で過していただけます。また、トイレ清掃は1日3回行い、清潔を保つようにしています。又、季節ごとの飾り付けや、壁新聞を1年分貼り出し、アルバムのように楽しんでいただいております。施設はとても広く、開放感があり、大きな窓からは周囲の自然を楽しむことができ、落ち着いた雰囲気施設となっております。	リビングは南に面し、大きな窓があり、陽当たりが良く快適です。コーナーには3畳のたたみで、横になって休むことや炬燵を置くなどができます。水槽に金魚を数匹飼い、利用者の目を楽しませています。隣接の畑には桜、けやき、椿などの樹木が植えられ、居心地よく過ごしています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室以外は共用の場所で、どこにいていただいても良くなっています。中庭は広く、芝生になっており、安全に散歩していただけるようになっていす。共用の和室では、洗濯をたたんだり、ゴマすりをされたり、ごろ寝をされたり、思い思いに過ごされております。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室のレイアウトや持ち物は自由にしていただけます。入居中でも希望されればタンスや家具の移動などいつでも希望のレイアウトに対応できます。万が一修理が必要になった時も修理を行うサービスも整っており、使い慣れた物をいつまでも使用していただけるように支援しております。	居室には慣れ親しんだ家具や人形、仏壇などが置かれています。百科事典を置いている人もいます。また壁面には絵、家族の写真、書や作品を飾っています。職員は温度、湿度の調整に配慮し快適に過ごせるように努めています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	広い施設を生かし、歩行や車椅子での移動には障害物はなく、安全に移動していただけるようになっております。トイレやお風呂場も広く、介護者が同行しても十分にプライバシーを確保しながら、ゆったりと支援できる環境が整っております。共用部分には分かりやすく大きな表示も設置し、混乱や迷いが無い様に工夫しております。		

事業所名	グループホームすもも
ユニット名	あおば

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念は玄関や事務所などの目の付くところに貼り、いつも目にしながら、その方らしく暮らし続けることの大切さを考えながら、又地域との交流を深め安心して生活してゆけるように支援しています。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>散歩の時の小さな挨拶から、自治会清掃活動やお祭り等、地域の活動に参加し、又施設での避難訓練などの催し物に地域の方が参加していただきながら交流を深めています。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>町内会長、民生委員、地域ケアプラザを介し行われる、運営推進会議で地域の高齢者情報を得たり、ホームの様子をお話したりしながら、認知症への理解を深めていただけるように努めています</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヵ月毎に開催される運営推進会議では、施設での活動報告等で情報を公開し事業所の理解を深めていただくと共に、地域の情報を得る場として活用しております。同じ地区の同法人施設も加わり、毎回活発な意見交換がなされております。</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>市町村担当者、保護担当者とは日頃より連絡を密に取り、意見や要望を伺います。保護担当の方には、ご家族探しなど協力いただき、親族に再会できる様になったかたもいらっしゃいます。法人外のグループホームとの交換研修やグループホーム連絡会、行政が主催する研修にも参加し、得られたことをホームの運営に役立てております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設では、中庭への出入りは自由にさせていただいています。防犯上玄関は施錠してありますが、希望されればスタッフと一緒に外に出られるようになっていきます。また、法人内外での研修、勉強会で内容や必要性を学んでおります。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	社内における勉強会や研修会で内容、必要性を確認しています。虐待防止マニュアルは、職員がいつでも確認出来る様になっており、定期的に職員に個別アンケートを行い、自分の介護を再確認する場を設け、気づきからの抑制に努めております。日常生活の中で虐待が見逃されないように日々の変化に素早く対応出来る様に努めています		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	当施設では利用された方はおりませんが、介護の現場では密接にかかわりのあることなので、社内の勉強会や研修会でその必要性を学んでおります。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	施設管理者が契約時必ず立会い、不明な点がない様に時間を掛けて随時質問を受けながら、説明しています。又、出来る限り明確にわかり易い説明を心がけております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	通常は定期的に送付する手紙や面会時に話を伺い、要望を受けています。普段から気軽に来ていただける様な雰囲気づくりを心がけ、話しやすい環境づくりをし、家族会や、電話連絡などご家族との友好的な関係が保てるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスを開催しスタッフ間での情報の共有をし、統一した介護が出来る様にしています。又、通常より申し送りや連絡ノートなどでコミュニケーションを取り合い、活発に意見が交換出来る様に努めています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は細部に気を配り、気軽に話が出来ると雰囲気作りを心がけています。研修や資格獲得などは積極的に声掛けをし、希望の職員には、勤務日程を調整しサポートしております。また、勤務経験によって仕事を任せ、評価する事でやりがいを持てる様にしています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人は職員の研修会参加を推奨しており、研修の情報提供や勤務調整等のサポートを優先して行っております。年に1度、法人の全施設が参加する事例報告会を開催し、職員は発表に向けて目標を掲げ、様々な取組みを行う中で、自然と知識や技術が身につくようになっております。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣の事業所へ協力を仰ぎ、グループホーム分科会や連絡会に加入し、近隣の同業者間での交換研修を行っています。アイシマグループ全体会議などで、他の事業者との情報交換を行っています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居されて間もない頃は施設にも慣れず、一番不安な時期なので、まずは、何でも話していただける様な雰囲気作りと職員から積極的にお声掛けする事で少しずつ馴染んでいただき、多くの会話の中から困っている事、不安なこと、要望などを見出して迅速にお応えする事で信頼関係を築く様に支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御入居まもなくはご本人、ご家族共に不安な状態ですので、定期的に手紙を出す他、面会時はもちろん、変化があれば、随時こちらから連絡を密にとり、状態を報告し、積極的にお声掛けする事で、不安を取り除くよう努めています。その中で出た御希望には迅速に対応し、安心して任せて頂ける様、努めております。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	話し合いに十分な時間をとり、ニーズの把握に努め、ご本人の負担の少ない介護になるように心がけています。また、車椅子、介護ベット等の介護用品や一般のベット等の入手手配はもちろん、身の回りに必要な物は入手手配にお応え出来る様になっております。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	施設での暮らしの中で、身の回りの事を中心に洗濯物たたみ、食事作り、配膳、ごみ捨て等、その方の出来る事を行っていただいております。手伝っていただいた時には感謝の気持ちを伝え、ホームの一員としての役割を担っている事を実感出来る様に支援しております。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	年2回、定期的に家族会を開催し、意見交換を行ったり、日常、連絡を密に取り合う中で、ご家族の手助けが必要な時は積極的にホームでの介護に参加していただいております。食事介助や手紙のやり取り、面会、行事への参加など、様々に参加していただける場面を設けております。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	施設では特に制限は設けず、出来るだけ御希望に添える体制になっております。利用者様の居室へご家族やご友人が訪問されるのはもちろん、ご宿泊いただく事も可能です。また、ご親族のお墓参りや希望の場所へのドライブ等の支援も行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事は全員揃って摂る様にしております。その時に口腔体操の意味も含め、季節の歌を皆さんで唄う様にしております。選曲をしたり、一緒に唄う事で、利用者様同士が自然と親しくなっていき、日常に中で会話を楽しまれたり、支え合う姿が見られております。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご本人、ご家族の意向を最優先に十分な話し合いを行います。また、ご退去をお考えの場合には退去先を含め、ご退去後も困ることがない様に最後までしっかり支援しております。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員一人ひとりが会話を中心としたコミュニケーションを取ることで、様々な情報が得られる様に工夫しております。得られた情報は申し送りや連絡ノート等の記録に残し、情報共有することで日頃のコミュニケーションに役立てております。意志の疎通が困難な方には表情や行動から推察出来る様に細かい観察に努めております。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の情報に加え入居後もご本人、ご家族、又は役所担当者様から話を聞き、少しでも多くの情報が得られるように努めております。得られた情報は個別ファイルに記録し、職員はいつでも確認出来る様になっております。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日の活動は個別にケース記録を作成し、記録しております。職員間では日々の申し送りと共に業務開始前に必ず記録を確認しその日の状況を把握してから業務に就く様にしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人の意向を中心に、ご家族とも話し合いを持ち、まずは、どの様に暮らして行きたいのかを決めます。その上で、往診医、訪問看護師とも連携し、医療、看護、介護と様々な方面からの意見を取り入れた介護計画書を作成しております。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別にケース記録を作り、日常の様子はもちろんの事、医療、看護、行政、ご家族など、様々な情報を記入し職員はいつでも情報を確認できるようになっており、そこから得られた情報は介護計画を作成するときの情報として活用しております。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>提携病院以外にも必要に応じて受診の付き添いも行っております。又、施設での入浴が困難な方へは訪問入浴やケアセンター、介護タクシー、小規模多機能など、その時々で生まれるニーズに柔軟に対応できる体制がアイシマには揃っております。また、個別に外食がしたい、お墓参りにいきたい、公衆電話から電話をかけたいなどのニーズにも対応しております。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>町内会に加入しており、夏祭り、体育祭、町内清掃など催し物へ多く参加しています。又地域ケアプラザへも頻繁に出かけ、馴染みの場所づくりを積極的に行って安心して暮らして頂けるように支援をしています。また、自治会へも加入しており、地域の一員として暮らして頂いております。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>内科、精神科、歯科、訪問看護の定期的な往診、訪問があり、ターミナルケアを受ける体制も整っており、御希望の主治医を選んでいただけます。また、主治医より、専門分野への紹介も行っております。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションとの契約に基づき日頃の健康管理や相談を受けられます。日常の状態は連携ノートで細かい変化を伝えて情報を共有しております。訪問は週1回必ず行われておりますし、24時間いつでも相談できるシステムが整っております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は医療機関へ情報を提供し、入院中は定期的に訪問し様子を伺います。その時の御様子等はケース記録に記載し、情報を共有しております。また、入院が必要となり得る疾病をお持ちの場合は訪問医とは別に疾病に適した入院設備のある病院への受診を行っております。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本施設にはターミナルケアまで受け入れる体制が整っており、入居時にも説明しています。又、重度化した時点で主治医、訪問看護から説明をし、ご本人、ご家族が納得の行く支援に取り組んでいます。施設として今までに5件の実績があります。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人内の勉強会やカンファレンス、外部の研修等を通じ応急手当や初期対応の訓練を行っています。急変時の対応についても、マニュアルを目に付くところに貼っております。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回定期的に消防署立会いの元避難訓練を行い、訓練時には地域の方にも参加していただき、災害時に対応出来る様にしています。その際、消防署から指摘された事は、課題として、そのつど改善していくように努めております。施設には3日分の水と食料を備蓄しており、法人で4日分の備蓄があり、計7日分の水、食料を確保しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	施設は個室以外の共有部分も広いスペースを確保しており、入浴やトイレなど介助が必要な場合、介助者が同行しても十分にプライバシーを保護出来る様になっております。接遇においても、マニュアルに基づき、職員全員が目上の方であること心に留めて、丁寧で落ち着いた対応が出来る様に努めております。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お散歩へ出掛けたるタイミングや召し上がりたい物等は出来る限りご希望に応えるようにしてご希望が言い易い環境づくりを心がけております。洋服選びなど自己決定が困難な方には職員と一緒に声掛けをしながら選んでいただく様にしております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的に1日の過ごし方は自由にしていただいております。入浴や食事、その方の体調や気分に合わせて都合の良い時間に行って頂けるようになっております。また、お散歩や、買い物、外出など、出来る限りご希望に応えられるように支援しております。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服はご自分で好きなものを着ていただいております。清潔が保てるように支援しております。お化粧品も自由にしていただいております。ご希望の化粧品やお部屋に鏡台や姿見なども手配する事ができますので、いつでもおしゃれを楽しんでいただけるようになっております。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りの手伝いや食器を片付けたりテーブルを拭き、配膳など出来ることを積極的に参加していただいております。また、施設内では行事食や畑で育てた野菜を収穫し、取れたて野菜を召し上がっていただいたり、施設外でも法人所有の中華レストランに外食に出掛けたり、様々な方法で食事を楽しんでいただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	施設には管理栄養士、栄養士がおり、日頃より、職員により良い献立作成の指導をしております。また、糖尿病や腎臓病等で病人食が必要な場合もすぐに対応する事が出来ます。食事や水分の摂取量はチェックシートにて個々に細かく記録しており、状態に応じて常食からミキサー食まで様々な形態に対応しております。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後必ず口腔ケアを行っていただいております。ご自分で上手に行えない場合は職員が介助して清潔を保てるように支援しております。また、訪問歯科の往診もあり、外出が困難な方でも歯科受診をしていただける様になっております。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを知る為に、チェックシートを利用しております。パターンに添って支援する事で少しでも失敗を減らし、気持ちよく過して頂けるように努めております。度重なる失敗でも、繰り返し根気強く支援する事で、改善された例もございます。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘や排泄については法人内での勉強会で度々取り上げられており、重要性を理解出来る様に努めております。また、安易に薬に頼らず、まずは施設に居ります管理栄養士指導の基、食事の改善や運動、水分補給等で自然な排便が出来る様に支援しております。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は毎日行っており、ご希望のに添えるように支援しております。浴室は広く、手すり等の安全面も考慮されておりますので、ゆったりとした空間の中で、安心して入浴を楽しんでいただけます。また、一般浴が困難の方でも、施設内に機械浴が設置されており、安全にご利用頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々のお部屋にはエアコンや湿温計が整っており、1年を通して快適にお休み頂けるように支援しております。寝具は清潔が保てるように、日当たりの良いベランダに干したり、定期的にはリネン交換を行っております。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別ファイルには薬の目的、用法、用量、副作用などの情報が細かく記載された物を綴じてあり、職員全員が情報を共有しています。また、服薬の変更はそのつど申し送りをし暫くの間は様子観察を行い、その変化は担当医に随時連絡し、指示を受けております。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	手芸の得意な利用者様には、皆さんで使うランチマットや雑巾を作っていたりしております。又、生き物が飼いたいとのご希望に応え、リビングで金魚を飼い始めました。えさやりや掃除など行って頂いており、表情の現れにくい方も金魚を見て微笑まれたり、良い効果が得られております。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日のお散歩へは1日の内に何度でもご希望に添えるように支援しています。その他、定期的に法人所有の中華レストランへの外食や音楽療法なども行っております。また、娘様を亡くされている方に、ご命日やお彼岸に合わせてお墓参りに行かれる様に支援しております。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御希望の方には施設で現金をお預かりし、買い物はスタッフが同行し好みの物を選んで買い物していただいています。金銭管理は出納帳を作成し、ご本人、ご家族に確認していただく様になっております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙についての制限はありません。誰にでも自由に連絡していただけます。施設内でプライベートな電話は避けたいという方に、近隣の公衆電話を使用していただく支援をしております。また、いつでも手紙が出せるように、切手やレターセットの用意もごございます。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日当たりが良く、窓は大きいので、明るく開放感があるリビングをはじめ、共用部分は広く、ゆったりと居心地の良い空間になっております。掃除には特に気を配り、トイレは1日3回定期的に掃除をし、夜間はリビングの床のモップがけや手すりの消毒など毎日行っております。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	広いリビングには3人掛けと2人掛けのソファを2つ置き、4畳敷きの和室もあます。また、眺めの良いベランダから外を眺めたり、皆様が思い思いの場所で過して頂けるようになっております。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にはご自分の使い慣れたタンスや家具の持ち込みは自由にさせていただいており、置く場所や使い方もご希望に添えるようにしております。ベットが苦手という方には和室もご用意しております。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	広い施設内はバリアフリーになっており、歩行が困難な方や車椅子の方でも安全に移動していただけるようになっております。共用部分には手すりや表示が設置されており、安全で混乱や迷いが無い様に工夫しております。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	玄関施錠は安全面、防犯面を考え施錠を行っている	鍵を掛けないケアーの実践	施錠箇所を確認し、必要の有無を話し合い、少しずつでも施錠箇所を減らしていく	12ヶ月
2		3月の震災以降施設では食料の備蓄を始めたが、不十分と思われる。	災害時備蓄品の充実	食料以外にも必要な物を検討し、災害時に備えていく	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。